

経営比較分析表（平成29年度決算）

岐阜県 瑞浪市

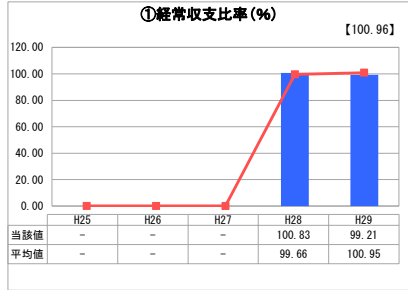
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)
-	67.10	4.81	88.68	3,456

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
37,979	174.86	217.20
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,813	2.51	722.31

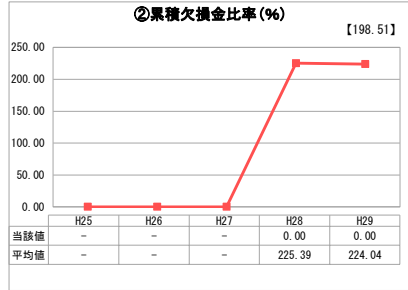
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成29年度全国平均

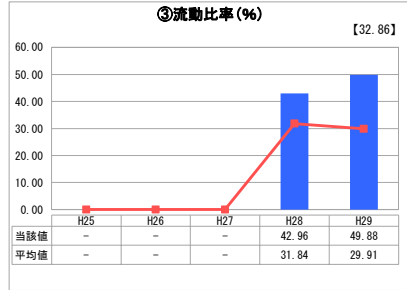
1. 経営の健全性・効率性



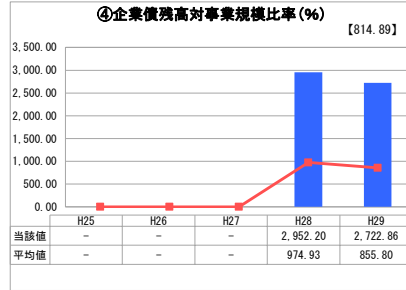
「経常損益」



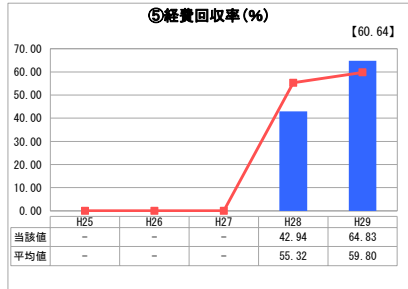
「累積欠損」



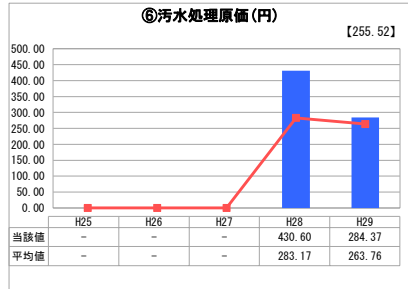
「支払能力」



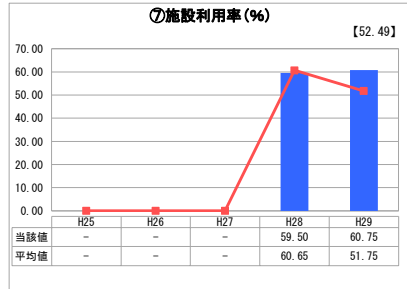
「債務残高」



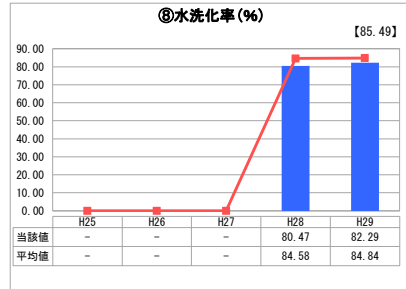
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

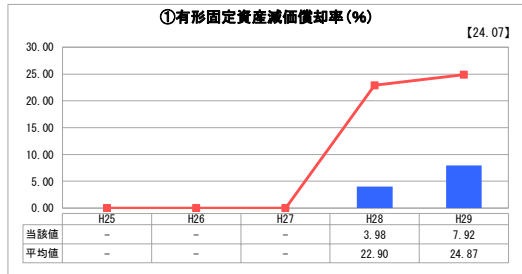


「施設の効率性」

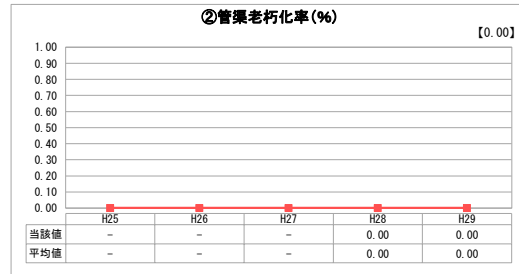


「使用料対象の捕捉」

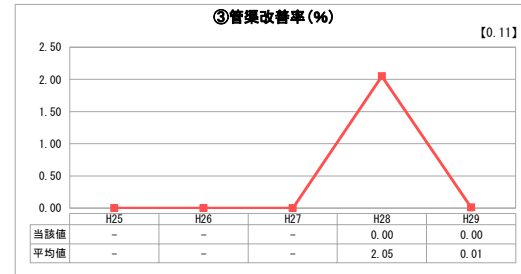
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

正確な経営状況の把握等を目的として、平成28年度から地方公営企業法を適用しています。経常収支比率については、一般会計からの繰入により概ね100%であり純利益を確保しています。流動比率については、類似団体平均を上回っていますが水準として低く、企業債の償還にあたり一般会計からの繰入金に依存している状況です。企業債残高対事業規模比率について、類似平均を大きく上回っていますが、平成37年度まで大規模な施設更新の予定がないことから、企業債残高は減少する見込みです。経費回収率は改善されましたが、一般会計繰入金に依存した状況は変わらず、汚水処理原価についても類似団体平均を上回っており、地理的要因等から汚水処理費が高くなる傾向であるため、経営戦略に基づき、維持管理費及び資本費の抑制に継続的に取り組む必要があります。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は、類似団体平均を下回っており、管路施設の老朽化は進んでいないと言えます。

全体総括

現在の経営は安定している状況ですが、一般会計からの繰入金に依存している状況であり、今後の人口減少に伴い営業収益の増加は見込めないことから、経営戦略に基づき、水洗化率の向上、維持管理費及び資本費の抑制に継続的に努める必要があります。なお、平成28年度に策定した経営戦略に基づき、平成33年4月に、現在の3処理区のうち2処理区を公共下水道に接続することで、処理施設の更新費及び維持管理費を大幅に削減できる見通しです。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。
 ※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率、管渠老朽化率及び管渠改善率については、平成26年度の実績を基に類似団体平均値を算出しています。